



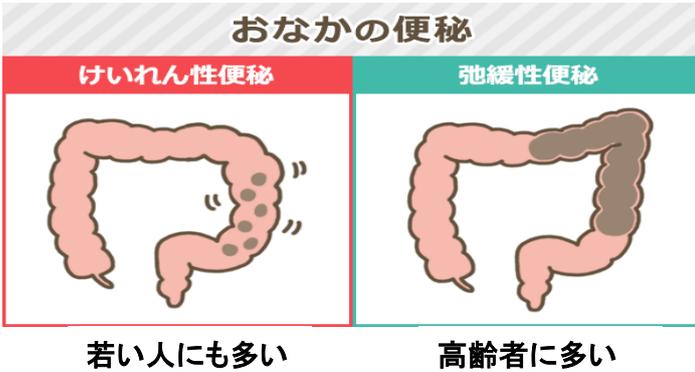
* * * 便秘のタイプと主な症状 * * *

便秘は、おなかのどの部分に便がたまっているのかによって治療方法が変わってきます。便秘薬を使ってもなかなか効果が出ない場合は、ご自身の便秘のタイプから考えてみるのも良いかもしれません。今回は、便秘にはどのような種類があるのかについて、簡単にお話したいと思います。



① おなかの便秘 ⇒ 飲み薬の便秘薬で治療

腸に便がたまっている「おなかの便秘」には、「けいれん性便秘」と「弛緩性便秘」があります。



【けいれん性便秘】
大腸が動きすぎてけいれんし、便が詰まりやすくなって起こる。ストレスが原因であることも多く、**痛みをとまなう。**

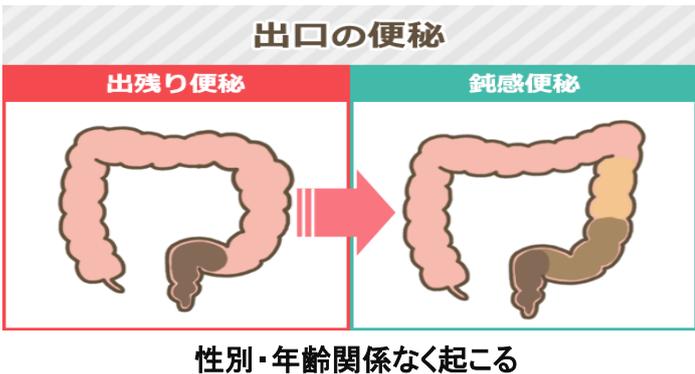
【弛緩性便秘】
腸の動きが弱く、便がうまく作られず、進みにくいために起こる。**ひどい腹痛は少なく**、お腹の張りが主な症状。日本人に最も多い。

若い人にも多い 高齢者にも多い

【主な症状】
・便が週に1~2回と少ない ・腹痛 ・おなかが張る ・げっぷがよく出る ・食欲低下

② 出口の便秘 ⇒ 新レシカルボン坐剤やグリセリン浣腸で治療

直腸や肛門に便がたまる「出口の便秘」には、「出残り便秘」と、それが進行した「鈍感便秘」があります。



【出残り便秘】
便を我慢したり、加齢による力の低下で、便が直腸・肛門内に残ってしまっている。毎日排便があるケースが多いため、便秘と気付かないこともある。

【鈍感便秘】
出残り便秘が進行して、肛門に便があるのが当たり前になっておこる。便を感知するセンサーが鈍ってしまい、**2~3日分の便がたまってしまう。**

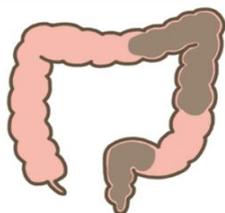
性別・年齢関係なく起こる

【主な症状】
・1日に何度も出る ・出始めが硬い ・残便感がある ・食べたらずぐ出る ・肛門がかゆい ・おなかが張る

③ おなか+出口の便秘 ⇒ 飲み薬+新レシカルボン坐剤で治療

①と②を合わせたような便秘です。

おなか+出口の便秘



大腸にも便がたまり、なかなか肛門まで下りてこない上に、下りてきた便も完全に出ずに残ってしまう。毎日排便があっても、少ししか便が出ない、**排便後もお腹の張りが続く**といった症状が多くある。

【主な症状】
・少量便が何度も出る ・残便感がある ・排便後もおなかが張る
・新レシカルボン坐剤やグリセリン浣腸を使っても少量便